

名張川（名張地点）の洪水被害を軽減

淀川水系名張川の水資源機構の管理する名張川上流3ダム（青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム）流域では、台風21号の降雨により、10月18日15時から10月23日7時までの総雨量が青蓮寺ダム流域で470mm、室生ダム流域で357mm、比奈知ダム流域で522mmを記録しました。

この洪水に対して、名張川上流3ダムでは国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所と協同し、特別防災操作※を実施し、ダム下流の名張地点において水位を約1.3m（推定）低減することにより、下流沿川の洪水被害軽減に努めました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

また、『特別防災操作』とは、下流河道の整備状況を勘案し、防災操作実施後の貯水容量に余裕があると判断した場合には、ダムの洪水調節容量をより効果的に・効率的に活用し、貯留量を増やして放流量を低減させることで下流の被害を軽減すると操作のことです

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

平成29年10月24日

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

名張市政記者クラブ
桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 福田
住所：三重県名張市下比奈知2811-2
電話：（0595）64-8961（代表）

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
防災情報課 課長 中村
住所：大阪府枚方市山田池北町10番1号
電話：（072）856-3131（代表）

名張川（名張地点）の洪水被害を軽減

～台風21号に伴う、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムの特別防災操作～

10月18日15時頃より降り始めた台風21号に伴う降雨は、淀川水系名張川の3ダムでは、比奈知ダム（三重県名張市）流域で、10月22日22時から23時までの1時間の雨量が最大35mmを記録するなど、下表のような降雨がありました。

降雨状況

	青蓮寺ダム	室生ダム	比奈知ダム
降雨があった期間	10月18日16時～23日7時	10月18日18時～23日7時	10月18日15時～23日7時
総雨量	470mm	357mm	522mm
最大時間雨量	32mm(22日20時～21時)	27mm(22日20時～21時)	35mm(22日22時～23時)

この降雨による出水に対して、各ダムへの流入量が増加し、ダム下流沿川の洪水被害を軽減するため、国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所と協同し、青蓮寺ダム、室生ダム及び比奈知ダムの特別防災操作を行いました。

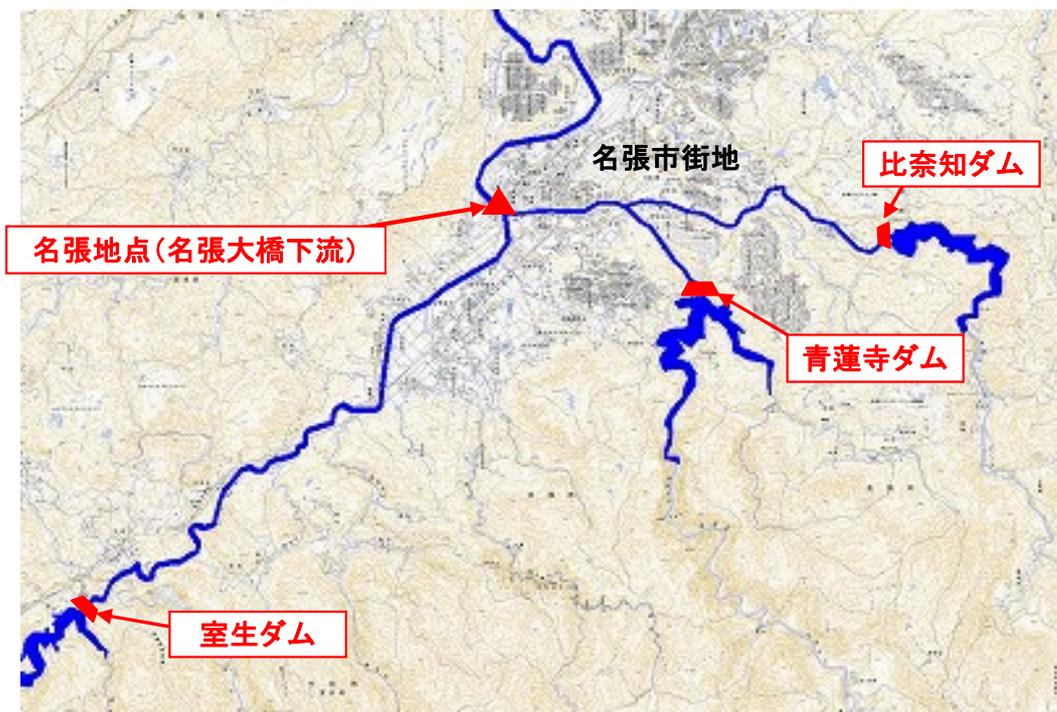
ダム下流の名張水位観測所では、青蓮寺ダム、室生ダム及び比奈知ダムの特別防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を約1.3m低減できたことが推定され、下流の洪水被害軽減に努めました。

青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

（参考）これまでの各ダムの管理開始以降の最大出水記録

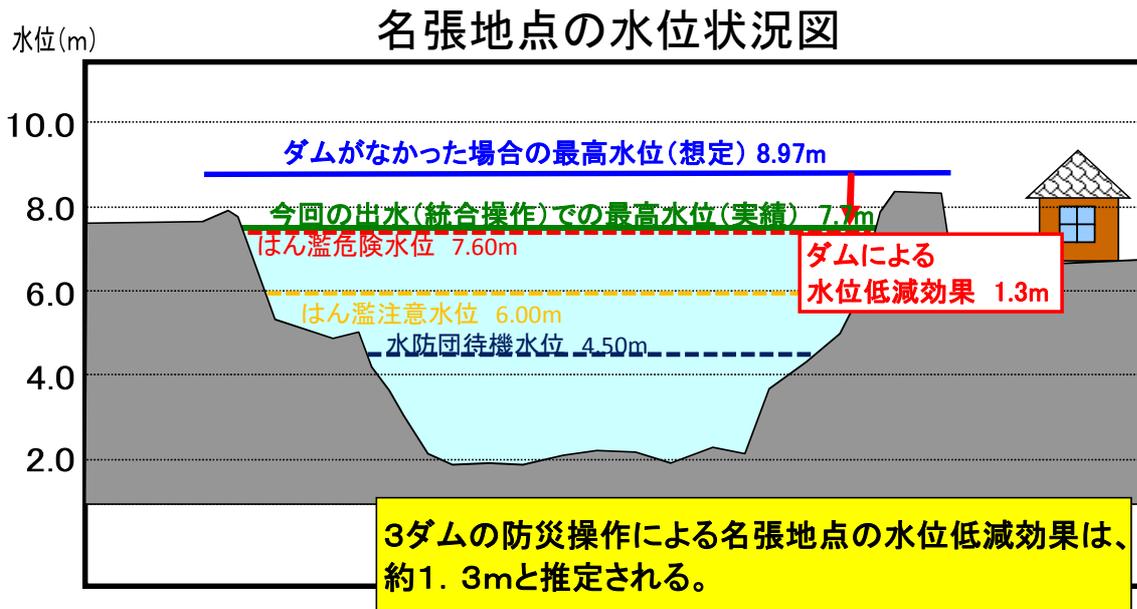
ダム名	記録年月日(原因)	総雨量	最大流入量
青蓮寺ダム	H6.9.27(台風26号)	350mm	毎秒827m ³
室生ダム	S57.7.31(台風10号)	432mm	毎秒640m ³
比奈知ダム	H16.8.5(台風11号)	323mm	毎秒551m ³

名張川3ダム（青蓮寺、比奈知、室生）位置図



淀川流域平面図





名張川下流河川状況



名張地点 河川状況

平常時の状況

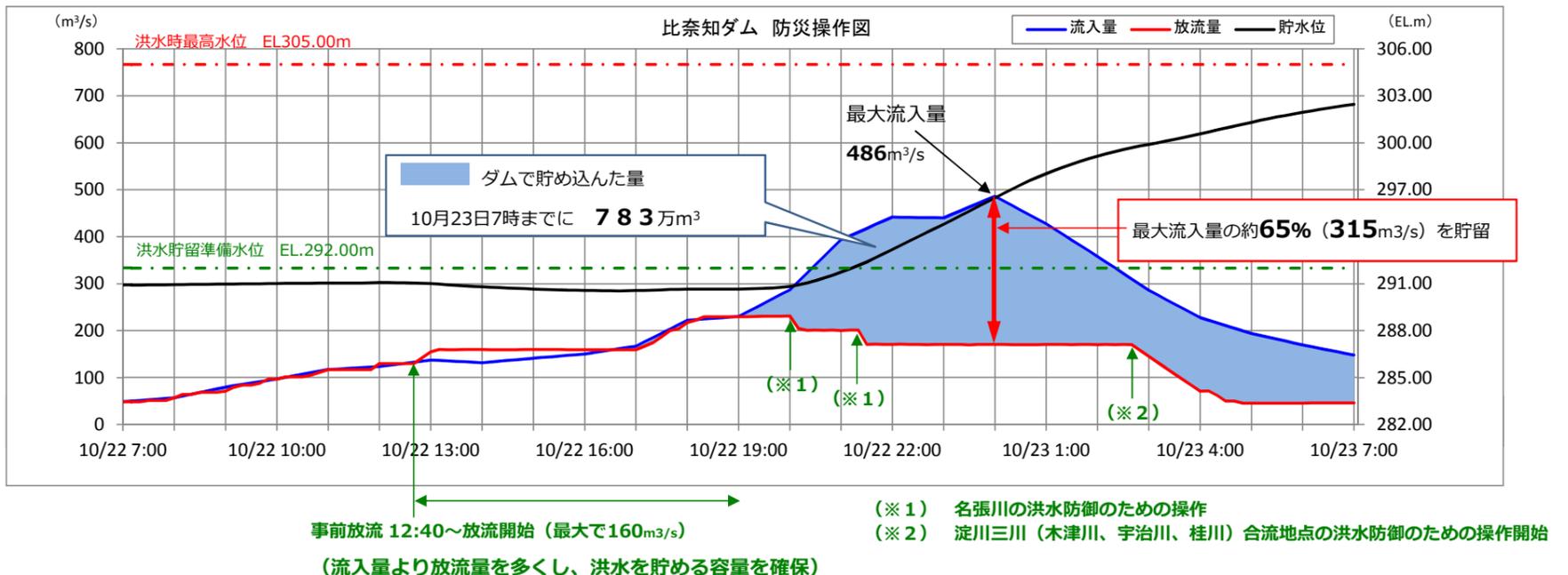
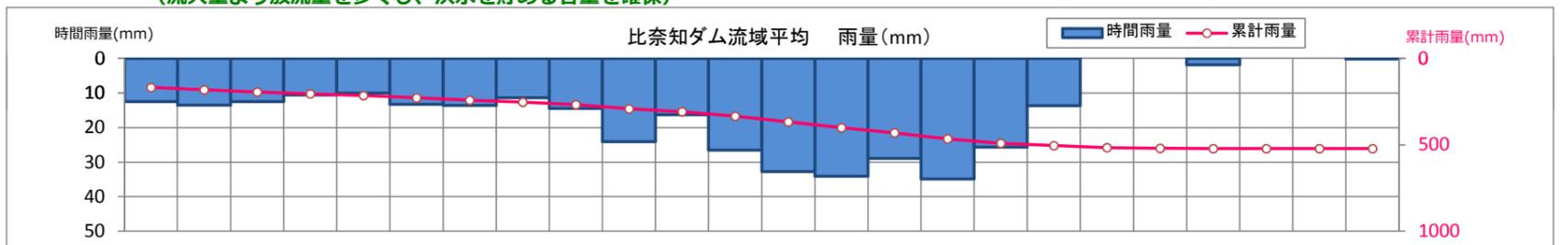
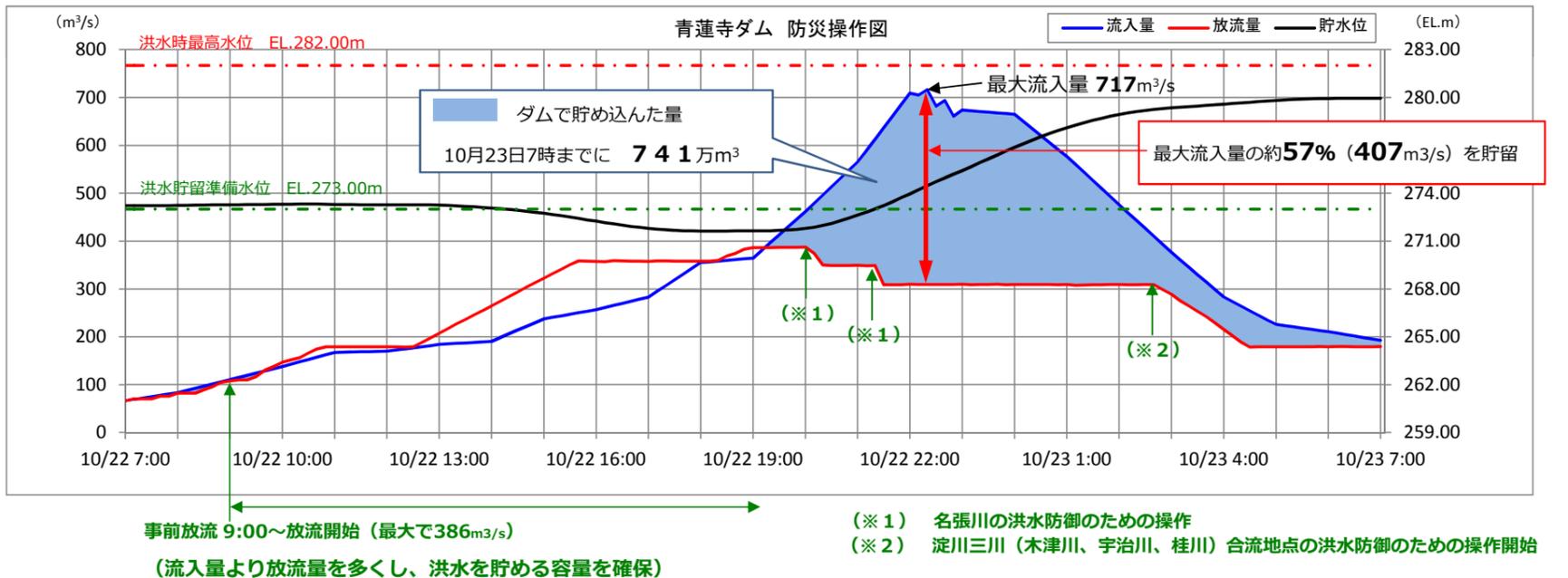
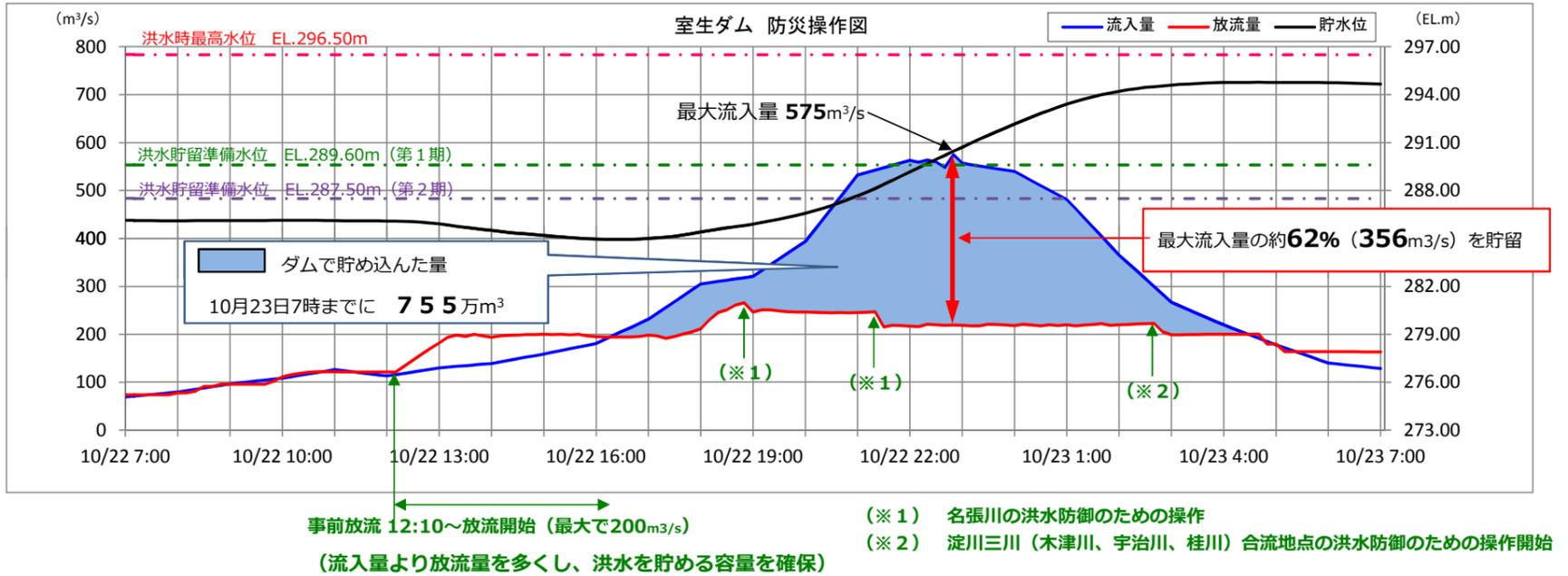
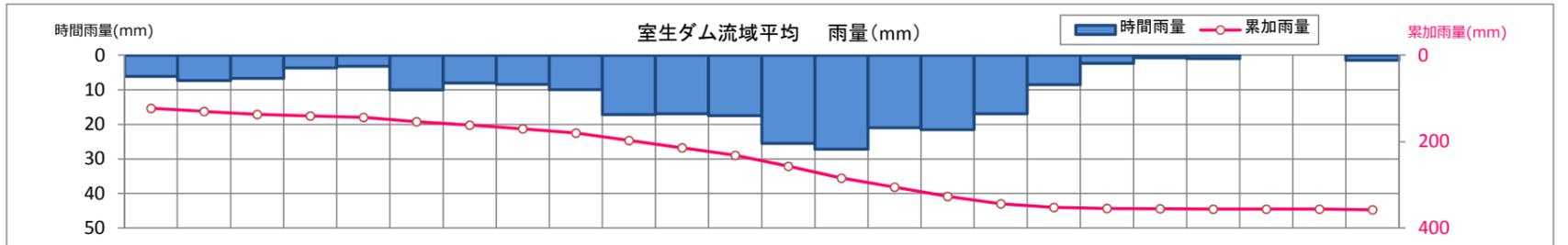


洪水時の状況(10月22日14時)



※撮影地点は異なります。

名張川上流3ダム（比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダム）の防災操作



名張川3ダム 放流状況



青蓮寺ダム



室生ダム



比奈知ダム

名張川3ダム 貯水池の状況

防災操作前の状況(貯留前)

防災操作後の状況(貯留後)



青蓮寺ダム

ダム上流側カメラ

貯め込み

貯留前
EL.271.63m



ダム上流側カメラ

貯留後
EL279.95m
23日7時頃
水位上昇
8.32m



室生ダム

左岸上流

貯め込み

貯留前
EL.284.95m



左岸上流

貯留後
EL294.77m
23日7時頃
水位上昇
9.82m



比奈知ダム

貯め込み

貯留前
EL.290.54m



貯留後
EL302.46m
23日7時頃
水位上昇
11.92m

青蓮寺ダムの概要

【ダムの諸元】

ダム型式	: アーチ式コンクリートダム
堤体積	: 約175 千m ³
堤高	: 82.0 m
堤頂長	: 275.0 m
流域面積	: 100 km ²
湛水面積	: 1.04 km ²
管理開始	: 昭和45年7月

【ダムの目的】

1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 不特定かんがい等

名張地区の既得用水および木津川沿岸の既得用水所要量を補給するとともに、河川管理上必要な流量を確保する。

3. 水道用水

阪神地区の水道用水として、2.3m³/s、名張市の水道用水として、0.19m³/sを供給する。

4. 特定かんがい

青蓮寺用水として、最大1.60m³/sを取水可能とする。

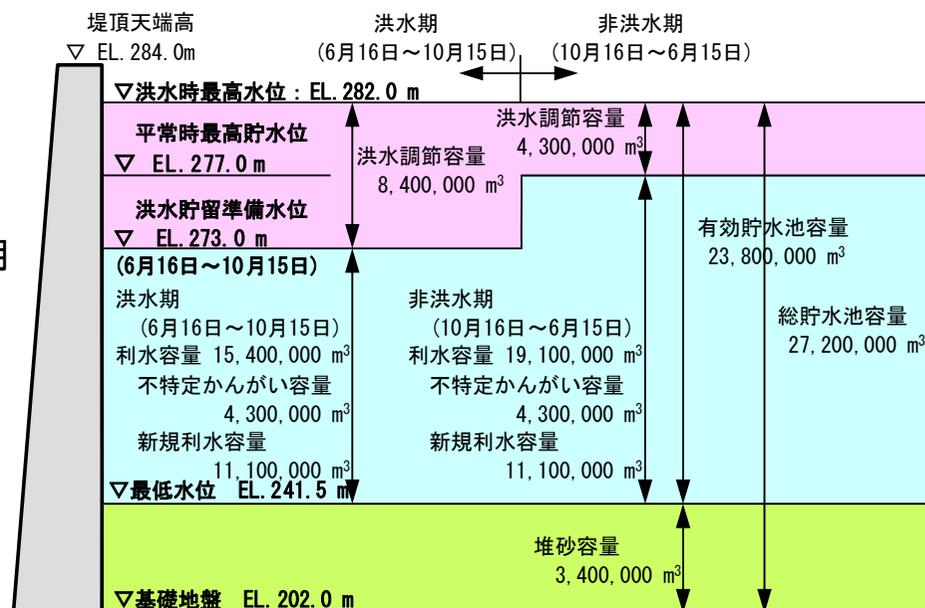
5. 発電

中部電力が管理する青蓮寺発電所※で、最大出力2,000kWの発電を行う。(最大使用水量3.9m³/s)

※ 平成25年4月に三重県企業庁から中部電力に譲渡された。



■ 青蓮寺ダム貯水池容量配分図



室生ダム of 概要

■室生ダムの諸元

ダム型式：重力式コンクリートダム

堤体積：約153千m³ 堤高：63.5m

堤頂長：175.0m 管理開始：昭和49年4月

湛水面積：1.05km² 竣工：昭和49年度



■室生ダムの目的

1. 洪水調節

洪水被害を軽減するため、最大300m³/sを放流する。

2. 不特定かんがい等

宇陀川筋の既得用水の補給を行うとともに、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。

3. 水道用水

大和平野の諸都市に対して最大1.6m³/sを供給する。

■貯水池容量配分図



比奈知ダム概要

■比奈知ダムの諸元

ダム型式：重力式コンクリートダム
 堤体積：約426千m³ 堤高：70.5m
 堤頂長：355.0m 管理開始：平成11年4月
 湛水面積：0.82km² 竣工：平成10年度



■比奈知ダムの目的

1. 洪水調節

名張川及び淀川治水の一環として、ダム地点における計画高水流量1,300m³/sのうち700m³/sをダムに貯留し、600m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

名張川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

名張市に最大0.3m³/s、京都府に最大0.6m³/s、奈良市に最大0.6m³/sを供給する。

4. 発電

ダムから放流される水(最大使用水量3.7m³/s)を利用し最大出力1,800kWの発電を行う。

■貯水池容量配分図

